

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年7月6日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年7月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガス放射線モニタ(B)通信異常の警報発生について】 当社運転員が、3号機原子炉格納容器ガス管理設備の免震重要棟監視装置に、「3号機原子炉格納容器希ガス放射線モニタ(B)通信異常」の警報発生を確認。 現場の希ガス放射線モニタ(B)では、データ指示が確認できており、現場モニタ盤から免震重要棟間の通信不良が発生したと推定。 希ガス放射線モニタ(A)に異常はなく、希ガス放射線モニタ(B)も監視カメラで確認ができることから、監視及びデータ採取に影響なし。 その後、希ガスモニタ(B)の再起動を実施し、監視可能となった。</p>	GⅢ	7月1日
2	<p>【第二セシウム吸着装置のフィルター(B)の出口圧力計計装ラインからの滴下について】 当社運転員が、第二セシウム吸着装置の運転時に、フィルター(B)の出口圧力計計装ラインから1分に1滴程度の滴下を確認。当該箇所は袋養生を設置済み。 なお、床面への漏えいはなく、第二セシウム吸着装置を停止したことにより、当該箇所からの滴下停止を確認。 セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置は運転可能であり、汚染水処理設備の運転に影響なし。 今後、当該出口圧力計計装ラインを点検・修理予定。</p>	GⅢ	7月4日
3	<p>【4号機滞留水移送装置の無停電電源装置故障の警報発生について】 当社運転員が、所内共通P/C4B点検に伴う関連負荷の事前安全処置として、4号機滞留水水位計用の電源の切替を実施した際、「無停電電源装置故障」の警報発生を確認。 現場を確認したところ、当該無停電電源装置をバイパスした運転となっており、「無停電電源装置故障」警報発生により切り替わったと推定。 4号機滞留水水位計は、現在、無停電電源装置をバイパスするラインで電源が供給されている状態を維持しており、滞留水水位の監視は可能であり影響なし。 今後、当該装置の警報発生の原因について、調査予定。</p>	GⅢ	7月4日